

新年のご挨拶



玩具人形健康保険組合

理事長 戸所 正敏

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、当健康保険組合の事業運営に対し、平素より多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年の日本人の平均寿命は男性80.79歳、女性87.05歳となり、ともに過去最高を更新しました。男女ともに平均寿命が延びたことは喜ばしいことですが、介護等を必要としない自立した生活ができる「健康寿命」との差は、男性で約9年、女性で約12年あり、この期間に費やされる医療や介護などの社会保障にかかる費用も膨大な額となっています。

健康保険組合では、高齢者医療を支えるための費用として支援金・納付金を拠出していますが、平成27年度の健康保険組合全体における、保険料収入に対する支援金・納付金の割合は4割を超えています。健康保険組合では高齢者医療の負担構造改革の実現とともに、税を原資とした公費投入を求めています。現役世代の負担軽減につながる道筋は見えてこないのが実情です。

このような情勢のなかで、健康保険組合としての取り組みの基本は医療費適正化であり、みなさまに対する健康づくり事業の推進や重症化予防といえます。国では健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めていますが、健康保険組合においても従来在生活習慣病予防としての特定健診・特定保健指導とあわせて「データヘルス計画」を推進し、平成30年度からの第2期データヘルス計画の策定に向けた各種事業の見直しに取り組んでまいります。また、昨年からは始まっているマイナンバー制度については、本年1月から、健康保険組合においても、各種手続きにおいてマイナンバーを利用して事務を行うこととなります。当健康保険組合といたしましては個人情報への厳格な保護・管理に努めてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年がみなさまにとって実り多き一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。